

「品川区大井町駅周辺地区バリアフリー計画(改定素案)」へのご意見と区の考え方について

No.	ご意見(要旨)	区の考え方
1. 計画全般に関するご意見		
1	バリアフリー検討の対象に、高齢者視点のみならず、乳幼児連れなど子育て世帯の視点も加えて欲しい。 ベビーカーでの生活移動や、乳幼児を街の中で安全に育てるに当たり、高齢者視点と同じ気づきもあるが、「公園周辺の道路にガードレールがなく危険」「道の真ん中に柱がある」「小学生の通学路の歩道橋が錆びて穴があいている」など、子育て世帯だからこそ日々見えている改善点も多くある。 また、両者では生活動線も異なるため、重点地域の選定基準も変わると思うが、両者の視点を入れたほうが、中長期にわたって誰もが暮らし続けやすいまちづくりとなると思う。	本計画では、高齢者や障害者のみならず、子育て世帯を含む多様な方々の視点を踏まえたバリアフリーの推進を目指しており、授乳室の設置推進やベビーチェア・おむつ交換台の整備など、子育て世帯にも配慮した取り組みを位置付けております。 計画の改定にあたっては、子ども・子育て会議委員の協議会参画や、当事者等ヒアリング、まち歩き点検、心のバリアフリーワークショップなどを通じて、子育て世帯からもご意見をいただくとともに、区の子育て部署等とも連携して検討してまいりました。 今後も、多様な当事者の意見を踏まえながらバリアフリー施策に取り組んでまいります。
2	本計画(改定素案)の改定に賛同する。特に当事者参画、心のバリアフリー、情報バリアフリーを重視している点は重要だと考える。 実効性を高めるため、整備前の点検や意見聴取にとどまらず、整備後・供用後にも当事者・家族・支援者・地域住民が実際にルートを確認し、継続的な改善につなげる仕組みを位置付けてほしい。 また、駅から目的地まで本で行けるかを判断できるルート単位の情報(エレベーターの位置・利用時間、段差、勾配、歩道幅、休憩場所、トイレ、迂回・工事情報等)を地図やオープンデータとして公開し、外出前の不安を減らしてほしい。大井町駅周辺を誰もが安心して回遊でき、広域品川圏のバリアフリーまちづくりを先導するモデルとして発展させることを期待する。	本計画では、当事者参画、心のバリアフリーおよび情報バリアフリーを基本方針として位置付けており、事業実施にあたっては企画・設計段階から可能な限り当事者参画による検討を進めることとしております。また、事業実施後についても、利用者・当事者の意見を踏まえた評価・改善を行う PDCA サイクルにより、継続的なバリアフリーの推進を図ることとしております。 情報バリアフリーに関する事業として、バリアフリー情報の提供・更新やバリアフリーマップの充実を位置付けております。 今後も、多様な主体との連携や当事者参画を通じて、バリアフリー施策に取り組んでまいります。
3	P11、16 の折れ線グラフは、2%未満の差をさも大きそうに見せており、印象操作的な感じを受ける。	高齢化率の推移に関する折れ線グラフにつきましては、高齢化率のピークと現在値を分かりやすく示したのになります。
4	P17「令和2年度に3割前後落ち込みました」の理由は書かないのか。	駅の1日あたり乗車人員につきましては、大井町駅周辺地区における駅利用者数の推移を示すことが主な目的になります。

No.	ご意見(要旨)	区の考え方
2. 具体的な整備・取組等に関するご意見		
(1) 青物横丁駅前交差点に関するご意見		
5	青物横丁駅前交差点の第一京浜国道には横断歩道がなく、歩道橋にエレベーターがない問題について、改善してほしい。	青物横丁駅前交差点につきましては、国土交通省からバリアフリー化の実施に向けて関係機関と協議中と聞いております。また、本計画においても特定事業として位置付けております。 区としては、早期実現に向けて今後も国土交通省に働きかけてまいります。
6	青物横丁の交差点にある歩道橋が高齢者にはつらいため、エレベーターをつけてほしい。歩道橋を渡らず迂回する経路は買い物や病院通いに使うには非常に長い距離で、高齢者にはとてもつらい。	
7	青物横丁歩道橋が揺れるので怖い。エレベーターがある歩道橋への改修もしくは横断歩道の設置を早急に実施してほしい。エレベーターは海晏寺側に設置してほしい。	
8	青物横丁駅前の歩道橋は老朽化が進み利用率が高いものの階段しかなく、健康な若者以外は利用困難で、暮らしに支障が出ている。歴史ある街の価値を下げしており、早急なバリアフリー化が必要である。	
9	南品川から青物横丁周辺まで計画地域が拡張したことを喜ばしく思う。青物横丁交差点の歩道橋のバリアフリー化を、この地域の住民は何十年も切望している。私自身20年以上前、子供を抱えて買い物袋を持ちながらベビーカーを担ぎ、歩道橋を上り下りした時の大変さはいまだに忘れられない。また、高齢者がシルバーカーを抱えて上り下りする姿や、車いすで危険を顧みず交差点を渡る姿を目にする。 区から積極的に働きかけ、仙台坂(りそな銀行側と海晏寺側)両方向へのエレベーター設置、もしくは安全な横断歩道化を早急に推進してもらいたい。	
10	青物横丁交差点のバリアフリー化を計画に入れてくれてありがたい。私のマンションは鮫洲方面寄りにあり、入居者はかなり高齢化しており歩道橋での横断が大変な方が多い。平坦な道で行こうとすると600m超の迂回が必要で、これからの酷暑では高齢者やベビーカーの方の負担が大きく熱中症も心配だ。一日でも早く、エレベーターを設置してほしい。	
11	青物横丁駅前にある歩道橋は構造が古く階段・歩道部分ともに幅が狭くすれ違いが困難で、高齢者・ベビーカー・車いす利用者には実質利用不可能である。エレベーターやスロープの設置など安全に渡れる歩道橋への改修を強く希望する。改修が難しい場合は横断歩道の新設や信号機の設置など、地上で安全に横断できるルートの整備も検討してほしい。	
12	青物横丁交差点の歩道橋を建て替えてほしい。3方向にしか渡れず、走る人がいると揺れ、夏場は舗装が浮き、階段が狭くすれ違いが大変である。4方向に渡れるようにし、階段の幅を広げてほしい。年配の方や大きな荷物を持つ人のためにエレベーターがあればと思う。	

No.	ご意見(要旨)	区の考え方
13	青物横丁駅に直結する歩道橋の改善を強く求める。周辺に信号機付き横断歩道がなく、唯一の経路だが、老朽化が著しく橋面は補修の継ぎはぎだらけで、通行者が走ると大きく揺れるなど安全性に疑問がある。雨天時は滑りやすく幅も狭く危険と隣り合わせだ。高齢者の多い集合住宅や高校も近く、混雑する。第一にエレベーターのある歩道橋への架け替え、第二に横断歩道の併設を求める。	青物横丁駅前交差点につきましては、国土交通省からバリアフリー化の実施に向けて関係機関と協議中と聞いております。また、本計画においても特定事業として位置付けております。 区としましては、早期実現に向けて今後も国土交通省に働きかけてまいります。
14	青物横丁駅前の歩道橋は通路の修繕跡で凹凸ができ足元が不安定で、夏場は表面が盛り上がる部分もある。老朽化も気になる。歩道橋にエレベーターの設置を検討してほしい。高齢者、障害者、ベビーカー利用者、旅行者等が自力でスムーズに利用でき、行動範囲が広がって活気ある街につながると思う。	
15	青物横丁歩道橋について、区として国へ早期の改修・更新を強く要望してほしい。老朽化が進むうえ幅員が狭く、ベビーカー・車いす利用者・子ども連れ・高齢者が安全にすれ違えず、雨天時は中央に大きな水たまりができる。周辺には幼稚園や品川特別支援学校があり、自立通学の妨げにもなっている。幅員の拡幅、手すりのかさ上げや転落防止対策、雨水排水の改善などユニバーサルデザインの視点を取り入れた整備が必要である。	

No.	ご意見(要旨)	区の考え方
(2) 道路または通路に関するご意見		
16	電動車いすユーザーだが、車道と歩道の段差をなくしてほしい。1cm以上の段差があるとスムーズな移動ができない。一部で良いので全ての段差解消を願う。	区では、「品川区道路の移動等円滑化のために必要な道路の構造の基準に関する条例」に基づき、歩道と車道の境界に、視覚障害者が白杖等で歩車道の境を認識できるよう、2 cm以下の段差をつけることとしております。ご意見の通り、段差をバリアとを感じる方もおられることから、横断歩道部などでは歩道と車道の境界の一部に段差のない部分を設けております。
17	歩道と車道の間にある僅かな段差が車いすやベビーカーにとっては危険なものになるため改善してほしい。	
18	品川区のバリアフリーは、歩行補助具でもある電動車いすの性能に合わせてもらいたい。人が押す車いすよりも電動車いすの方が移動の制約が多く、坂道の角度や上るときの入射角度など制御不能になる場所が多い。	区では、「品川区道路の移動等円滑化のために必要な道路の構造の基準に関する条例」に基づき、道路の整備を実施しています。いただいたご意見につきましては、今後の道路整備の参考とさせていただきます。
19	きゅりあんの駐車場入り口などで、車いすの人が制御不能でガードレールにぶつかっているのを何度も見た。車道に出てしまう可能性もあるので、歩道のアップダウンをなくしてほしい。	ご意見として承るとともに、きゅりあん駐車場入り口は民有地内の空地であるため、土地所有者に伝えてまいります。また、当該箇所の改善につきまして、区と土地所有者で調整し、検討してまいります。
20	きゅりあん駐車場入り口の歩道の勾配が急なため、電動車いすで何度も制御不能となりガードレールにぶつかった。歩道は車道の高さに下げず車道を歩道の高さに上げる方が安全で、斜めのスロープや角度のついた歩道も制御不能となりやすい。歩道は水平に同じ高さにし、車道を渡る場所だけ角度を和らげ段差をなくしてほしい。車いすだけでなく手押し車やベビーカーの利用者も困っている。	
21	第一京浜の歩道の幅を広くし、傾斜・段差をなくしてほしい。青物横丁駅前交差点を迂回する第一京浜の歩道はとても狭く車道側に傾斜している部分が多い。脳梗塞の後遺症のある方が車道側に引っ張られると話しており、ベビーカーを押す際も片手で必死に支えながら歩いた。傾斜・段差がない、歩くのが楽しみになる道にしてほしい。	第一京浜の歩道につきましては、国土交通省から、青物横丁駅前交差点のバリアフリー化の整備方針が出来上がった後に、可能な改善を実施する予定と聞いており、本計画においても特定事業として位置付けております。区としましては、確実な実現に向けて今後も国土交通省に働きかけてまいります。
22	大井町駅から区役所に向かうトラックスの道は、高低差のバリアフリーは良いが、高層ビル特有のビル風が非常に強く、雨の日には傘もささず通行できる状態ではない。雨風を防ぐ対策を求める声が多くあり、ぜひ検討をお願いしたい。	ご意見として承るとともに、事業者伝えてまいります。
23	雨天時に、きゅりあんから JR、りんかい線、東急、トラックス、区役所新庁舎まで車いすで雨に濡れずに移動できるルートを確保してほしい。	ご意見として承ります。

No.	ご意見(要旨)	区の考え方
(3) 大井町駅または大井町駅付近の昇降に関するご意見		
24	ベビーカーで東急大井町線に乗るとき必ずエレベーターを使うが、止まる階が多く狭いのでいつも待ち時間が発生する。大井町トラックスができて余計に時間がかかる。少しの段差なのでスロープを作してほしい。	区役所通り(都道420号)と大井町駅の昇降利便性向上につきましては、本計画において継続検討事業として位置付けており、今後も継続して検討してまいります。 なお、区役所方面から東急大井町駅へ向かう場合、大井町トラックスのエレベーターを経由する経路もございますので、併せてご案内いたします。
25	東急大井町線と JR 西口改札付近のエレベーターについて、りんかい線の改札階まで直通のエレベーターが欲しい。現状は地下階からエスカレーターや階段を使わないと改札階に行けない。大井町トラックスができ利用したい声も多いと思う。	東急大井町線・JR 西口改札付近にあるエレベーターで降りた地下階から、りんかい線の改札階までのエレベーターにつきましては、東京臨海高速鉄道㈱にて整備する予定と聞いており、本計画において公共交通特定事業として位置付けております。
26	JR 大井町駅アトレ側の改札を出てヤマダ電機の方に出たあたりにエレベーターが欲しい。品川郵便局方面へ向かう際、階段を避けるルートだとかなり遠回りになる。	大井町駅東側歩行者デッキにおける昇降利便性向上につきましては、本計画において継続検討事業として位置付けており、今後も継続して検討してまいります。 なお、7:00 から 23:00 まではきゅりあんのエレベーターをご利用いただけます。
27	JR 大井町駅中央西口のエレベーターがかなり混雑している。下りのエスカレーターがないため利用者が列を作っていることが多い。	大井町駅中央西側の昇降利便性向上につきましては、本計画において継続検討事業として位置付けており、今後も継続して検討してまいります。

No.	ご意見(要旨)	区の考え方
(4) 交通安全または交通安全施設に関するご意見		
28	駅前中央通りは歩きやすくなってよいが、大井1丁目 23 番先の信号が青から赤に変わるのが以前より速くなり、車いすやシルバーカーでは渡りきらないうちに信号が変わってしまう。どうにか改善できないか。	ご意見として承るとともに、信号機を管理する警察に伝えてまいります。
29	東大井5丁目2番、3番先の線路沿いの道路について、大井町駅に向かう人と自転車が多くの接触事故がいつ起きてもおかしくない状況である。線路を越えて改札口に行けるようにしてもらえると嬉しい。	ご意見として承ります。 なお、区では人と自転車の接触事故防止のため、自転車利用のルールとマナーに関する広報啓発活動を実施しており、本計画においても道路の適正利用に関する事業として位置付けております。当該箇所を含め、より一層の広報啓発に取り組んでまいります。
30	品川特別支援学校周辺のスクールゾーンについて改善を要望する。現在は浅間台小学校に合わせ午前8時30分までだが、支援学校の開門は午前8時40分で、規制終了後の一般車両と通学時間帯が重なる。障害のある子どもたちは安全確認や交通状況への対応に時間を要する場合もあり非常に危険である。 スクールゾーンの時間延長や対象エリアの見直しを検討し、誰もが安心して通学できる環境整備を進めてほしい。	ご意見として承るとともに、東京都立品川特別支援学校に伝えてまいります。 なお、お問い合わせのスクールゾーンにつきましては、浅間台小学校児童の登校時の安全を確保するため設置されたものになります。 区としましては、引き続き多様なひとが安心して通行できるよう、交通安全の啓発に努めてまいります。
(5) 放置自転車対策に関するご意見		
31	放置自転車を減らすためにも、自転車置き場を増設してほしい。	放置自転車対策につきましては、本計画においても道路の適正利用に関する事業として位置付けております。 区としましては、より一層の対策強化に取り組んでまいります。